

### 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
うるま市	石川地区	平成25年2月26日	令和3年3月8日

#### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	216.52498ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	140.76216ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	74.38646ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	72.52426ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.975ha
(備考)	

#### 2 対象地区の課題

高齢化による担い手不足や後継者不足が懸念される。  
 ヤミ小作が多く、次の担い手が耕作しようとしても地主との連絡がつかず、引き継ぎができないことも多い。  
 水代の支払いが滞ったまま離農した人の滞納分を、次の耕作者が支払わなければならない、それが原因の耕作放棄地の増加が課題である。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

#### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体へ中間管理機構を通じ貸借を進める。

比較的若い担い手が多いが、耕作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入を促進することにより、将来的な担い手の高齢化に備える。